令和7年度 事務事業評価シート

1 基礎情	報												
事業名 (子事業名)				選挙管理	委員会事務	経費			所属部等	選挙管理委員会事務局	事業番号	274	
予算区分		経常経費事業						所属課等	選挙管理委員会事務局				
予算科目	会	計 01	款	10 項 25 目 05	親事業	300	子事業	05	所属係等	選挙係			
2 計画(Dlan)					<u>:</u>							
	1//	基本政策		/////						事業区分	令和7年度	予算現額の内訳	
総合計画体系		基本施多	////	自動表示					● 国の制度に	よる義務的事業	項目(節)	金額(千円)	
		単位施制		自動表示						よる義務的事業	9	24	
	///	○ 単年度のみ ② 単年度繰返			(開始年度 年度)			<u>//////</u> 度)	- 〇 市の制度に	よる義務的事業	11	233	
事業の期間		期間限			~		年度)		- ○ 施設等維持	管理事業	13	220	
									- ○ 補助金等交	付事業	14	118	
									- ○ 協議会等の	負担金	19	95	
									○ その他の事	業			
事業概要	選挙	羊管理委	員会	事務局を円滑に運	営する				t t		<u> </u>		
		应于自任女兵五平切州○[]HE(座百) ○											
									地方自治法第1	91条			
											合計	690	
目 対象)33 V	V 600 -000 -T	. п л	+ 7/e 17 + 4-50	意図	₹1)	n == 1 = 6	e em del Z= 1, ve			I	
的(誰を・何る	を) 選系	产官埋委	貝会	事務局書記	(どうした		選挙を	公止に管	F理執行する。				
手段	强为	* 管理季	:昌今	の実施、県下各市	等の選挙管理	■委員会事	孫島と情報	明な扱や	研修を行う				
(どうやって)					V-1/22-12	LANAT	1337A3 C 1A 1	W.Z.J.C. (WIND C 13 78				
3 現状把				実施(Do)へ 		-	-	-					
								>× /±	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
(1)事業費	!・指標	が推移	5		1			単位	(決算実績)	(決算見込)	(予算現額)	(予算見込)	
					国庫支出金			千円					
					県支出金		千円						
	-	業費		財源内訳	地方債			千円					
					その他 		千円	9'	79 201	600) 470		
年間 トータル				<u> </u>	■ 一般 財源 事業費計 (A)			千円	372 391 372 391		690 690		
コスト				=	業務に必要な人工		人			0, 1			
				正規職員	延べ業務時間(年)		時間		1 0. 1 80 480	480			
)	人件費		— //wr-ッパ.C.	平均人件費(年)		千円	8, 6		8, 884			
					 (B)		千円	· ·	35 888	888			
				(A) +				千円	1, 2;		1, 578		
対象数の推移		方向	\rightarrow	選挙管	理委員会事	務局書記			-	-	_	-	
活動指標(経営・その他	1)	方向	\rightarrow	事務研	修会等の実施	<u>ti</u>	目標			9 9		9 9	
(経常・その他	5)	/////	///		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	実績 ////////////////////////////////////	(////		9 9 9	111111111111111111111111111111111111111		
成果指標 (総合計画)													
	攻击业			<u>/////////////////////////////////////</u>	<u>/////////////////////////////////////</u>	<u> </u>	<u>/////////////////////////////////////</u>		<i>X////////////////////////////////////</i>	<u> </u>	X4444111111	<u> </u>	
(2) この事													
・関係者(市民、地域、協働の担い手、民間事業 ① 者、議会等)からどのような意見や要望が寄せられているか?				意見要望等	なし								
② ・直近3か容は? (監				善や見直し等の内 を含む。)	なし								
③ ・事業の対象者への周知方法は? (複数回答可)					□ 広報あつぎ□ 市ホームページ□ 公民館だより□ ポスター・チラシ□ SNS□ その他()								
④・他市の状	④・他市の状況は?(県内や類似団体との比較)				関係法令に基づき設置が義務とされている。								

証価	(Check)	,
計13	(Glieck)	

4	評価(Check)									
Г	① 社会的な要請 ・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の社		必要性は薄れている(A)	妥当	理由					
	会・経済問題として対応する必要があるか? ② 対象者のニーズ	_	必要性がある(B) 臓少する見込み(A)		理由					
必要	・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増えているか?	•	横ばい・増加する見込み(B)	妥当						
性	③ 行政関与の必要性 ・この事業は、行政が実施する必要があるか?民間	0	可能である(A)	妥当	理由					
L	やNPOなどでも実施可能か?	•	可能ではない (B)							
L	④ 廃止した場合の影響	○ 影響がない(A)		妥当	内					
L	この事業を廃止した場合、どのような影響があるのか?	•	影響がある(B)	χ ¬	容					
	⑤ 指標の達成度・EBPM※₁の考え方	0	未達成(A)		理					
L	・指標の目標値は達成できたか?達成できなかった場合、その理由は何か?	•	達成(B)	妥当	由					
L	・指標や目標値の設定根拠は? (エビデンスに基づく合理的な根拠)		R6活動指標 %		指標の場	関係法令に基づき設定				
		率	R6成果指標////////////////////////////////////		根拠					
有効	⑥ 目的への貢献 (具体的な成果)		貢献できなかった(A)		理					
性	・この事業は、意図した目的に貢献できたか。貢献 できなかった場合、その理由は何か?	•	貢献できた(B)	妥当	由					
	・具体的な成果の内容は?				成果	事務研修会等を通じて公正な選挙執行に貢献できた。				
L	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	0	可能性がある(A)	- · ·	理					
L	・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃合・連携 はできるか?	•	可能性がない(B)	妥当	由					
	⑧ 費用対効果の向上	0	余地がある(A)							
効率	・随意契約から入札への変更、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度、PFS/SIB※2等により、事業費の削減・費用対効果の向上は可能か?	•	余地がない(B)	妥当		選挙管理委員会事務局の設置は必要不可欠であるため、事業費の 削減の余地はない。				
性	⑨ 業務効率化 (業務時間・業務量の改善)	○ 余地がある (A)								
	・作業の見直しや業務改善、デジタル化・DX、外部 委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可能か?	•	余地がない(B)	妥当		■選挙管理委員会実施に付随する必要不可欠な業務のため、作業を 引見直す余地はない。				
	⑩ 受益者負担の適正化	0	なっていない(A)		珊					
公平	・受益者負担は公平・公正になっているか?		なっている・受益者負担には該当 しない(B)	妥当	由	受益者負担を求める対象ではない。				
性	⑪ 制度の周知		できていない(A)	亚小	理	田ケックソボルシン				
	・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度 を十分に周知できているか?	⊚	できている・周知の必要がない	妥当	由	周知の必要はない。				

※I EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠(エピデンス)に基づくものとすること
※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式
※IB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの

改善 (Action) へ

4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。

5 改善(Action)

(1) 事業継続の評価及び見直しの区分

	事業の適合率		評価の判定基準 ▶▶▶		所管課長評価		手法の適正率		見直し	/判定	定 見直し区分		復数	汝選択可)		
	- 心 - 	可业		80%以上	\Rightarrow	拡大or継続		見	効率性 妥当				Ш	コスト見直し	ш	PFS・SIB導入
3	次 必要性 妥当 価	100	70%以上80%未満	⇒	継続	冬小 冬十	直	劝举任 女ヨ	100	現行	うど	ا تا	作業工程等見直し		事業の統廃合・連携	
ſ	± ***	妥当	100	60%以上70%未満	⇒	継続or縮小	継続	区区	公平性 妥当	100	おり		デジタル化・DX		負担や周知の見直し	
	有効性。妥	女ヨ	%	60%未満	⇒	縮小or廃止		分	公十任 女ヨ	%				委託・指定管理		その他
	(2) 担当課による今後の取組															
	事業推進上の課題					具体的な改善案					備考					
今になし。				特に	特になし。											

(2) 担当体にある予長の状態									
事業推進上の課題	具体的な改善案	備考							
今 後 の 取 組	特になし。								

★評(Follow)へ

6 絵評 (Follow)

 MASEL (LOUGAN)		
所管部長評	価	具体的な指示事項
一次評価結果を踏まえた横 断的な視点での評価	継続	日頃から各自治体間と選挙における情報を共有し、課題研究等に努める。